

いじめから子どもの 命と心を守りましょう

全国的に、「いじめ」を背景とするさまざまな問題が後を絶たず、「いじめ」の報道を見たり聞いたりするたびに、子どもを持つ親として、非常に心を痛めています。

「いじめ」の問題は、子どもたちの健やかな成長を願う、私たちPTAにとっても、大変大きな問題です。奈良市PTA連合会は、「いじめ」から子どもたちの命と心を守るために、家庭でできることを考えてみました。

いじめるのも、いじめられるのも、いじめを止めるのも、見て見ぬふりをするのも、私たちの子どもです。「いじめ」をなくすためには、私たち親の関わりも大切ではないでしょうか。

子どもに「あなたは大切な存在なのだ」ということを伝えましょう。

生まれてきた命はひとつしかなく、かけがえのないものです。代わりは誰にもできません。家庭が子どもたちにとって常に安心できる場所であるようにつとめ、命の大切さを伝えましょう。また、まわりの子どもたちも同じように「大切な存在」であることを伝えましょう。

子どもたちに「いじめは絶対してはいけないこと」だと教えましょう。

子どもは、身近なおとなの行動や考え方に大きく影響を受けます。「いじめは許されない」「いじめる側が悪い」という思いで子どもと向き合い、いじめるだけでなく、見て見ぬふりをする人も人を傷つけることがあることを教えましょう。

子どもたちが発する「いじめのサイン」を見逃さないようにしましょう。

日頃から、家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう。子どもの悩みや思いをしっかりと受け止めるため、まず子どもの話を聞きましょう。また、その表情や様子から、子どもが発する「いじめのサイン」を見逃さないようにしましょう。子どもは「心配をかけたくない」といった思いから打ち明けられないこともあります。

いじめに気づいたら、素早く対応しましょう。

「いじめ」に気づいたら、子どもの気持ちを大切にしながら、学校園や相談しやすい人に打ち明け、解決に向けて素早く対応しましょう。

家庭は子どもの“育ちの原点”です。私たちの子どもの明るい未来と健やかな成長のために、学校園と協力し合い、「いじめ」をなくすよう取り組んでいきましょう。